

## 平成28年度 総合評価書

「政策の企画・立案に時間を割くことができるような体制を確立するため、業務改善・効率化の取組を進めること」について

平成28年8月

大臣官房総務課（吉永和生課長）

大臣官房人事課（八神敦雄課長）

### 1. 政策体系上の位置づけ

評価対象事業は以下の政策体系に位置付けられる。

#### 【政策体系】

基本目標：国民に信頼されるとともに、職員一人一人がやりがいをもって働くことができる体制を確立すること

施策大目標：職員の育成と職場環境の改善を図ること

施策目標：政策の企画・立案に時間を割くことができるような体制を確立するため、業務改善・効率化の取組を進めること（施策目標XⅢ－2－4）

### 2. 現状分析

平成25年8月に設置した「組織活性化推進プロジェクトチーム（主査：厚生労働審議官）」等を中心に、厚生労働省全体で業務改善に向けた取組を総合的に推進している。

具体的には、平成25年8月の「組織活性化に向けた取組について」（組織活性化推進プロジェクトチーム）において、各部局長が先頭に立って、当該部局について現状分析を行った上で「人材育成」「ワークライフバランス」「業務効率化」を3本柱とする「組織活性化方針」を取りまとめることを決定した。

平成27年度は、26年度と同様に、「業務適正化推進月間」を設け、各部局において、業務効率化等に向けた議論及び前年度の組織活性化方針のフォローアップを行った上での新しい組織活性化方針の策定等を行った。

### 3. 評価結果等

平成27年の業務適正化推進月間の後、組織活性化推進プロジェクトチームにおいて各部局での議論等を集約し、その結果を踏まえ、好事例の横展開等を実施した。

#### 4. 今後の課題と取組の方向性

---

今後も、「組織活性化推進プロジェクトチーム」等を中心に、厚生労働省全体で業務改善に向けた取組を総合的に推進する。